



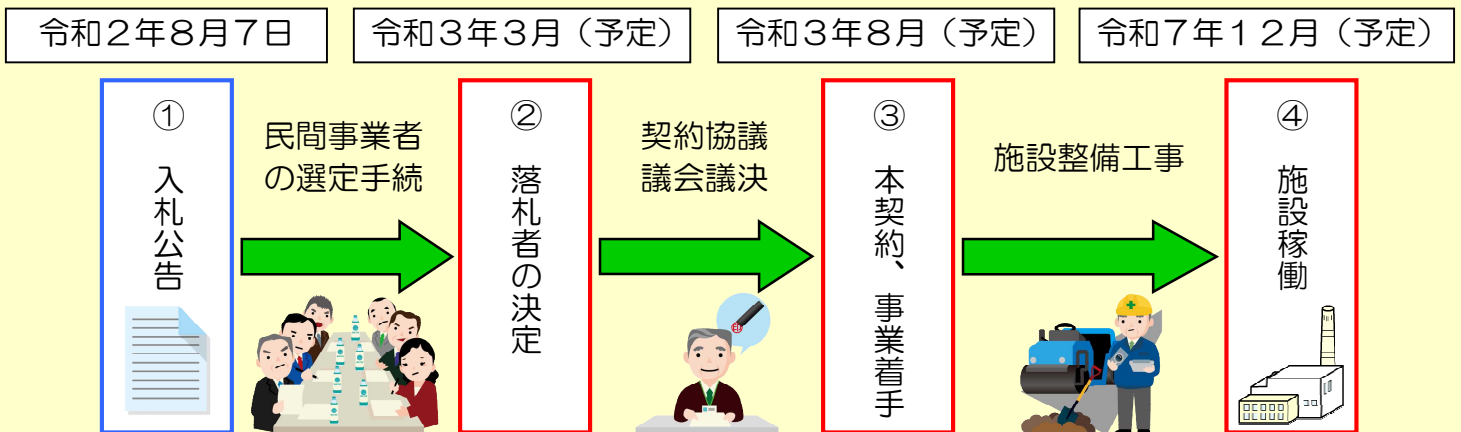
発行：厚木愛甲環境施設組合  
〒243-0017 厚木市栄町 1-16-15  
☎046-297-1153 FAX 046-221-5322  
E-mail: atsugi-aiko@r3.dion.ne.jp

## ごみ中間処理施設整備運営事業の状況と予定について

組合では、将来にわたり、安定的で安全なごみ処理体制を維持していくため、令和7年12月の稼働を目標にごみ中間処理施設を整備し、適切な運営を行うごみ中間処理施設整備運営事業（以下、「本事業」）を進めています。

本事業は、民間事業者が有する経営能力と技術的能力を活用し、効率的かつ効果的な事業の実施を図るため、施設の設計・施工業務と、稼働後20年間にわたる運営業務を民間事業者に一括して発注するDBO（Design：設計、Build：施工、Operate：運営）方式により実施することから、ごみ中間処理施設の設計・施工・運営業務を担う民間事業者を選定するための手続として、令和2年8月7日に入札公告を行いました。

今後は次のとおり、令和7年12月の施設稼働に向けて、本事業を進めてまいります。



- ① 民間事業者に対して、入札参加のための募集要項などを組合ホームページで公表しました。
- ② 価格と技術提案の内容を総合的に評価する総合評価一般競争入札により、施設の設計・施工・運営業務を担う民間事業者（落札者）を決定します。
- ③ 契約協議や組合議会での議決を経て、民間事業者と本契約を締結し、事業に着手します。
- ④ 施設整備工事が完了し、ごみ中間処理施設が稼働します。

## 第4回事業報告会の開催時期について

本事業の進捗状況や今後の予定などを皆様にお知らせする「第4回厚木愛甲環境施設組合事業報告会」の開催時期について、本年11月の開催を予定していましたが、現在、開催時期を調整しています。

開催時期や詳細が決まりましたら、本誌や組合ホームページでお知らせしますので、しばらくお待ちください。



## 【 定例会の開催結果について 】

8月4日に開催した令和2年組合議会第2回定例会において、副議長に馬場司議員（愛川町選出）が新たに選出されました。このほか、令和元年度歳入歳出決算や不動産（ごみ中間処理施設用地）の取得、監査委員の選任など4議案が審議されました。また、望月真実議員（厚木市選出）から、ごみ中間処理施設の運営について一般質問が行われました。

議事録は、9月中旬に組合ホームページで公開する予定です。

## 【 組合議会議員の紹介について 】

第2回定例会において、役職者の改選などがありましたので紹介します。

- 厚木市議会選出（7人）・・・石井芳隆（議長）、栗山香代子、渡辺貞雄、遠藤浩一、瀧口慎太郎、望月真実、奈良直史
- 愛川町議会選出（4人）・・・小林敬子、馬場司（副議長）、岸上敦子、阿部隆之
- 清川村議会選出（2人）・・・藤田義友、川瀬正行



## 清川村

3市町村情報コーナー

## 「SDGs推進」オリジナルエコバッグを全戸配布

清川村では、本年7月1日からのレジ袋有料化に伴い、プラスチックごみの削減や、国連の掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の取組のひとつとして、住民の環境への意識を高めることを目的に、オリジナルエコバッグを村の全戸（約1,270世帯）に配布しているよ！

今回のオリジナルエコバッグの配布は、「住民と一緒にすぐできるSDGsの取組」の第1弾として、エコバッグを通してSDGsへの関心をもってもらえるように企画をしたもので、レジかごにすっぽり入る大きなエコバッグの真ん中には、清川村マスコットキャラクターであるぼく、「きよりゆん」が印刷されているよ！

レジ袋などのプラスチック製品には、地球温暖化や海洋プラスチックごみなどの課題があるから、使い過ぎずに、賢く利用していくことが、ぼくたちに求められているよ！

お買い物の際は、マイバッグを持っていくなど、プラスチックごみの削減に向けて身近なことから始めてみませんか？

ぼくが  
紹介するよ！



©清川村 きよりゆん



清川村のオリジナルエコバッグ



レジかごにすっぽり入る大きさ